

※日程が変更になりました

【開講日】平成31年2月4日(月)

ふゆ 三鷹サテライト教室

文学

三鷹

302072

『枕草子』「日記的章段」を読む

— 皇后定子之歌 —

受講料 (振込額)	3,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	月曜日		日程 2月4日 3月18日 4月8日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全2回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学非常勤講師 稲垣 智花 (いながき ちか)				
	早稲田大学大学院博士課程修了。武蔵野大学非常勤講師。跡見学園女子大学非常勤講師。専門分野は、中古中世の物語・歴史物語。共編著書に、『常用 源氏物語要覧』(武蔵野書院)。論文に、『新時代への源氏学第3巻 関係性の政治学2』所収「解釈行為の政治学—「夕霧」—」(竹林舎)、『歴史物語講座第3巻 大鏡』所収「大鏡の思想」(風間書房)ほか。				
内容	『枕草子』の「日記的章段」と呼ばれる部分からは、作者清少納言を取り巻くさまざまな人間関係をうかがい知ることができます。長保二年(1000)三月二十七日、皇后定子は一条院今内裏から平生昌の家に行啓します。生昌は大進という低い身分の役人でしたが、定子が滞在したため、その家は「三条の宮」と称されます。その後、二十日ほどの短い参内を経て、八月二十七日に再び「三条の宮」に戻った定子は、その生涯を終えるまでここで過ごすことになります。				
	「三条の宮におはしますころ」は、この「三条の宮」での定子の日常を描いた章段です。珍しく「姫宮」脩子内親王や「若宮」敦康親王の名前が見えるだけでなく、定子の詠んだ歌が書きとめられているのですが、この章段の前後には、定子の詠歌が集中して表れています。他の物語や周辺の資料を参照しながら、定子の最後の日々を追ってみたいと思います。				
	① 2月4日:「三条の宮におはしますころ」 ② 4月8日:「御乳母の大輔の命婦、日向へ下るに」				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00
: 土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。